

Newsletter: 日本音韻論学会 (PHSJ)

第 20 巻第 3 号 (通巻 59 号)

2017 年 2 月 19 日

音韻論フォーラム 2016 報告

去る 8 月 24 日(水)~26 日(金), 金沢大学サテライトプラザにて, 音韻論フォーラム 2016 が開催されました。

五十嵐陽介先生(一橋大学), 立石浩一先生(神戸女学院大学), Timothy Vance 先生(NINJAL)による基調講演, そして, 韓国音韻論・形態論学会から本学会との交流で来日された Ponghyung Lee 先生(Daejeon University), Chang-Kook Suh 先生(Baekseok University)による招待講演がありました。また, 例年通り, 博士号取得者の講演と一般研究発表が行われました。

3 日間を通して, 合計で 57 名の参加者があり, 質疑応答も活発に行われました。1 日目夜に開かれた懇親会には 40 名の参加者があり, こちらも盛会でした。

会場を提供して下さい, 大会運営に協力していただいた金沢大学の高山知明先生に, 改めてお礼申し上げます。また, 期間中に運営の手伝いをして下さいましたアルバイトの学生の方々にも, お礼申し上げます。

2017年度春期研究発表会

2017 年度の春期研究発表会は, 2017 年 6 月 23 日(金)に, 慶應義塾大学日吉キャンパス(横浜市港北区日吉)で開催予定です。同日, 会員総会も行われます。奮ってご参加下さい。プログラム等の詳細は, 4 月末に発行予定のニューズレターでお知らせします。

なお, 6 月 24 日-25 日には, 日本言語学会が首都大学東京(南大沢キャンパス)で開催される予定です。

2017 年度春期研究発表会発表募集

2017 年度春期研究発表会における研究発表を, 下記の要領で募集します。発表希望の方は奮ってご応募ください。

プログラム等の情報は, 4 月末に発行予定の Newsletter にてお知らせします。

本研究発表会での発表内容は, 一般発表, ワークショップともに編集委員会による査読を経て, 『音韻研究』第 21 号(2018 年 3 月, 開拓社から刊行予定)に掲載されることとなります。学会誌への掲載という点からも, 他学会との重複発表はくれぐれもご遠慮下さい。なお『音韻研究』への掲載は, 原則として 8 ページです。

<応募要領>

発表(論文)テーマ: 音韻論・音声学に関するもの, あるいは音韻論・音声学と他の分野とのインターフェースに関するもの。

使用言語: 日本語または英語。

発表形態: 一般発表またはワークショップ

送付方法: いずれの発表形態の場合も, ①要旨, ②発表者情報を別のシートに記載し, 下記の担当理事宛に送信して下さい。

I. 一般発表の場合

- ①「要旨」には, タイトルと発表要旨のみを記入する(氏名等は記載しない)。要旨は日本語の場合 2000 字以内, 英語の場合 800 語以内とする。別紙に, 参照文献一覧を 1 枚以内で示す。
- ②「発表者情報」には, 氏名, 所属, 発表タイトル, メールアドレス, 住所, 電話番号を記載。

II. ワークショップの場合

- ①「要旨」は, ワークショップ全体に関するものと, 各発表者によるものを用意し代表者を取りまとめ, 一括して送付する。各要旨には, タイトルと発表要旨のみ記入する(氏名等は記載しない)。各要旨は日本語の場合は 2000 字以内, 英語の場合は 800 語以内とする。要旨各々につき, 参照文献一覧を 1 枚以内で示す。
- ②「発表者情報」には, 発表者全員の氏名, 所属, 発表タイトル, メールアドレス, 住所, 電話番号を記載。代表者に印をつける。
メールで PDF ファイルを送付(PDF ファイルの作成が不可能な場合は, Word ファイルにて送付)。PDF ファイルで投稿できない場合は, 事前に担当理事にご連絡下さい。

書式: A4 サイズに発表時の使用言語で記載。

締め切り: 2017 年 3 月 31 日(金)

送付先: 高山知明(春期研究発表会担当理事)
phsj.spring@gmail.com

(メールでの送信が不可能な場合は以下に送付)
〒920-1192 金沢市角間町 金沢大学人間社会学域
人文学類 高山知明〔【春期研究発表会書類送付】と赤で表書下さい〕。

書式を守っていない, あるいは期限に間に合わない応募原稿は無効としますので, ご注意下さい。4 月中旬に, 発表の可否を通知予定です。

音韻論フォーラム 2017 予告

2017 年度も, 以下の要領で音韻論フォーラムが開催される予定です。

期日: 2017 年 8 月 23 日(水)~25 日(金)

会場(予定): 首都大学東京(秋葉原サテライトキャンパス)

研究発表の募集など詳細につきましては、4月末に発行予定の Newsletter で、改めてお知らせいたします。

旅費の補助について

学会では、若手研究者への支援を目的として、フォーラムや研究発表会の遠隔地からの発表者で、かつ、非有職者(学生や非常勤講師等)を対象に旅費の補助を行います(一人上限2万円(国内)、5万円(海外))。応募者に対する審査と補助額の算定は事務局で行います。該当される方は奮って研究発表会ならびにフォーラムの発表に応募して下さい。

『音韻研究』の購入方法

学会からの配布以外に『音韻研究』の購入を希望される会員は、会員特別価格で購入できます。また、『20周年記念論文集』(2016)や本学会の前身である音韻論研究会編『音韻研究—理論と実践』(1996)についても、特別価格で購入できます。ともに、ご自身で直接開拓社にお申し込み下さい。その際、送付先、氏名、必要な号の番号、部数とともに、日本音韻論学会の会員であることをお伝え下さい。折り返し、開拓社より出版物と振込用紙が送られることになっております。詳しくは、開拓社にお問い合わせ下さい。

開拓社『音韻研究』係

〒113-0023 東京都文京区向丘 1-5-2 水上ビル 4F

電話: 03-5842-8900 Fax: 03-5842-5560

<http://www.kaitakusha.co.jp>

『音韻研究』定期購読のお願い

学会からの配布のほかに、勤務校の研究室・図書館などに、もう1冊、研究費等による『音韻研究』の定期購読をお願いいたします。

会費納入のお願い

日本音韻論学会は、会員の皆様からの「会費」により運営されております。会費納入にご協力下さいませよう、お願い申し上げます。

Eメール末尾もしくは封筒の宛名下にある数字を参考にして、会費を納入願います。印字された数字のうち5, 6は、それぞれ2015, 2016の各年度の会費が未納であることを意味します。*は、会費納入済みであること、括弧付きの数字はその年度の会費が不足していることを意味します。また、tはthousandの意味で、[5t]とあれば、5,000円会費が未納、または不足していることを意味します。たとえば、「*6[5t]」と印字されていれば、2016年度の会費が未納で、その総額が5,000円であることを意味します。

年度にかかわらず未納分の会費が納入され次第、当該年度の『音韻研究』を無料で送付しています。

封筒をご確認の上、未納の会費を以下の郵便振込みで納入していただきますよう、お願いいたします。

郵便振込:

口座番号: 00180-6-402077

加入者名: 日本音韻論学会

年会費:

維持会員: 10,000円

一般会員: 5,000円

学生会員: 4,000円

「維持会員」は、本会を格別に支援して下さる会員です。年会費1万円を納入することにより、どなたでも維持会員になることができます。ご検討、ご協力をお願い申し上げます。

住所等変更通知と確認のお願い

会員情報(住所、所属、連絡先)が変更になった場合は、必ず**事務局会計・西村**にご連絡下さい(学生会員から一般会員へと身分変更となった場合も必ずお知らせ下さい。また、Eメールも常時使用のものをお知らせ下さい)。連絡されないままにされますと、Newsletterや『音韻研究』などの配布物が正しく配送されませんので、くれぐれもご注意のほどお願いいたします。

おわび

種々の事情により、当 Newsletter の発行が大幅に遅れてしまいました。誠に申し訳ありません。

日本音韻論学会事務局

【事務局長(学会所在地)】本間猛(首都大学東京)

〒192-0397 東京都八王子市南大沢 1-1

首都大学東京 人文科学研究科(言語科学)

TEL: 042-677-1111(代表)

E-mail: honmat[AT]st.rim.or.jp

【事務局補佐・書記】竹安 大(福岡大学)

〒814-0180 福岡市城南区七隈八丁目 19-1

福岡大学 人文学部

TEL: 092-871-6631(代表)

E-mail: takeyasu[AT]fukuoka-u.ac.jp

【会計】西村 康平(いわき明星大学)

〒970-8551 福島県いわき市中央台飯野 5-5-1

いわき明星大学 教養学部地域教養学科

TEL: 0426-29-5111(代表)

E-mail: kohei.nishimura[AT]iwakimu.ac.jp

※上記 [AT] の部分を、@に変えてください。